

**IT資産の情報を収集するだけで満足していませんか？
ITのカイゼンと価値創造を促すIT資産管理の決定版
「Smart & Smile Solution SAMaaS」のご紹介**

株式会社エクサ

クラウドサービス営業部 高橋 良広
ICT基盤ソリューション部 小林 正英

第1章 ITにおける最大の課題 —IT資産管理—

第2章 What is SAMaaS ?

第3章 SAMaaS デモンストレーション

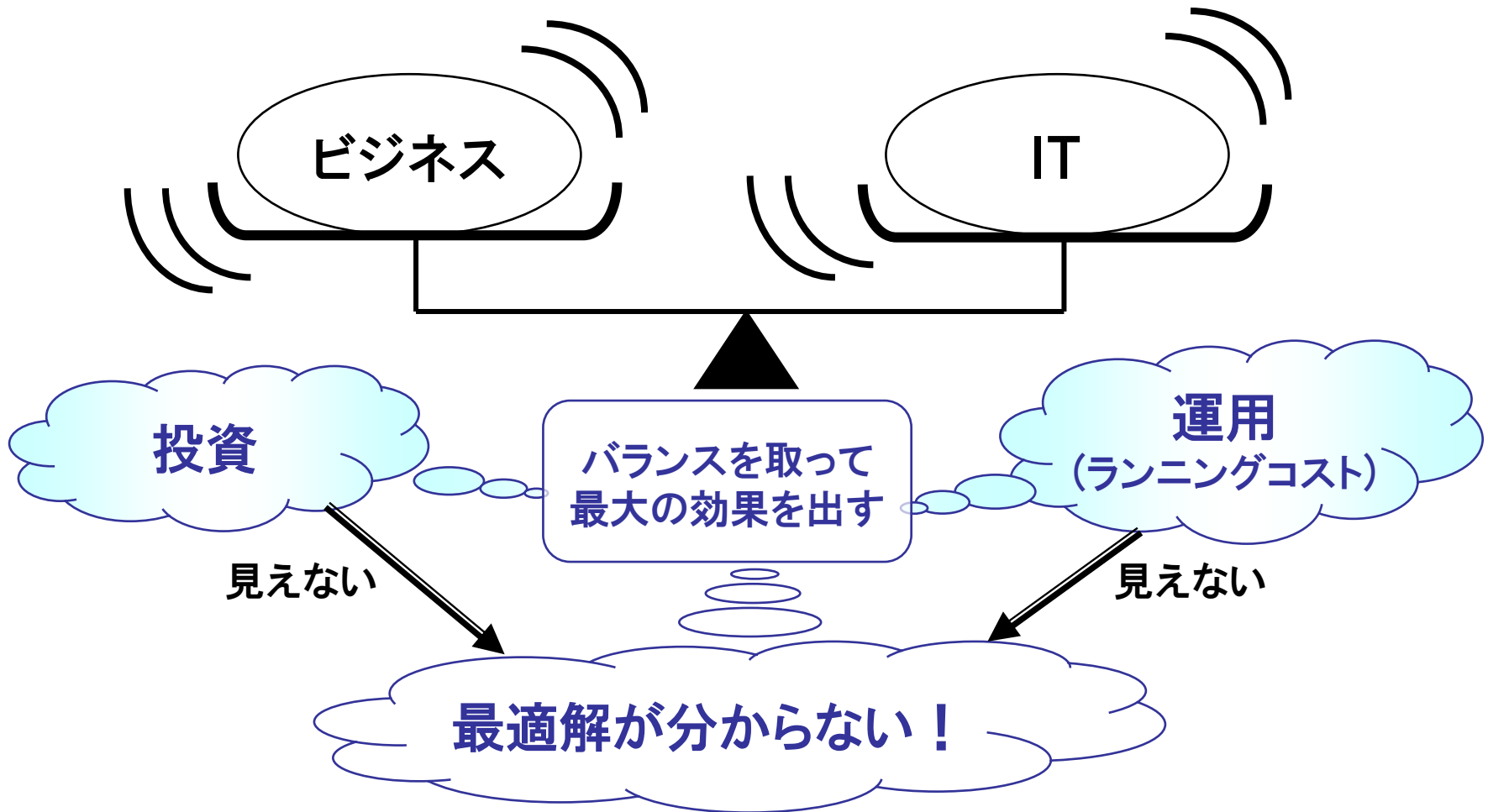
第4章 SAMaaS メニュー

本文中の会社名・製品名・サービスネームについて

- ・ SAMaaS (R) は、株式会社 エクサ (EXA CORPORATION) の登録商標です。
- ・ その他すべての会社名・製品名・サービスネームは、それぞれ各社の商標または登録商標もしくはサービスマークです。

ITにおける最大の課題 **—IT資産管理—**

- ビジネスとIT、投資と運用とのバランスが見えないのが、そもそもの課題
- 事業の推移や将来性、IT技術力の進化や発展を勘案することも大事



■ビジネスや経営からは様々な視点でのITレポート(報告書)が求められています

ITコストに関するレポート

人件費	H/W使用料	通信回線
減価償却費	H/W保守料	ITサービス利用
リース・レンタル	S/W使用料	
	S/W保守料	

業務システムに関するレポート

業務内容	設置場所	バックアップ
サーバ	セキュリティレベル	H/W設置年
	H/Wメーカー	S/W種類
	H/W OS	

組織体制に関するレポート

組織名	専任・兼任	開発体制
人員	スキル	運用体制
氏名	レベル	サポート体制

IT環境に関するレポート

運用状況	保守状況	利用状況
サーバ状況	SEC対策状況	運用体制
台数	物理SEC状況	ユーザーID
OS/更新状況	ウイルス対策状況	アクセス制御
暗号化状況	ウイルスパターン更新	パスワード変更

一番粒度の小さい単位であるIT資産を管理することが重要である

IT資産の管理は「漫然と放置された危険な状態」



経営者

IT資産のコストは適正？



セキュリティ的な問題は？



ライセンス/コンプライアンスの違反はない？



IT資産の管理はどうなっている？



特に問題はありません……

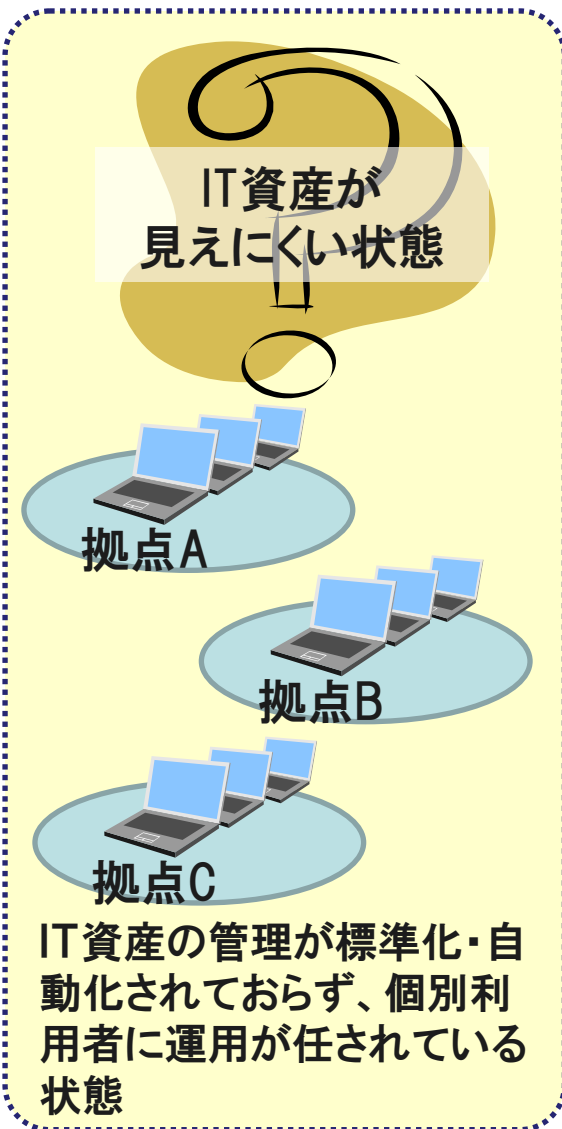
でも実は出来ていないんです

- ・棚卸できていない…
- ・拠点ごとに管理台帳がバラバラ…
- ・違法コピーの取り締まりが…

- ・正確なPC台数が把握できていない…
- ・セキュリティパッチは現場でやっているはず…
- ・ソフトウェアライセンスに余剰がある…
- ・廃棄処分したPCのデータ削除は大丈夫かな…



IT資産管理者



- IT資産管理とは、IT資産の状態、利用を把握して、改善を行うことで、リスクの最小化を図ります
- そのためには、状態と利用の最新かつ正確な情報が必要です
- ①IT資産管理台帳機能、②棚卸機能、③設定変更の抑止機能の3つの機能が必要です

IT資産に関する情報の一元化により、5W3Hの管理ができる*2

棚卸し情報と台帳情報を突合することにより、未承認のH/Wの検出やライセンスの過不足が把握できる

突合・更新

①IT資産管理台帳機能

- ハードウェア台帳*1
- ソフトウェア台帳*1
- ライセンス台帳*1
- ライセンス関連部材台帳*1
- 契約台帳
- 利用者情報
- 設置場所情報
- 組織情報

*1: SAM基準(ISO19770)より

*2:
What, When, Why, Where, Who,
How, How many, How much

故意・過失の設定変更を問わずに、リスクの顕在化を回避できる

抑止・防止

棚卸支援

- ハードウェア
- 利用者情報・設置場所情報

インベントリ収集

- ハードウェアスペック
- 導入済みソフトウェア (バージョン/エディション)

- 利用者の故意または過失の設定変更を防止する(自動修復)
- セキュリティ情報

②棚卸機能(現状の把握)

③設定変更の抑止機能

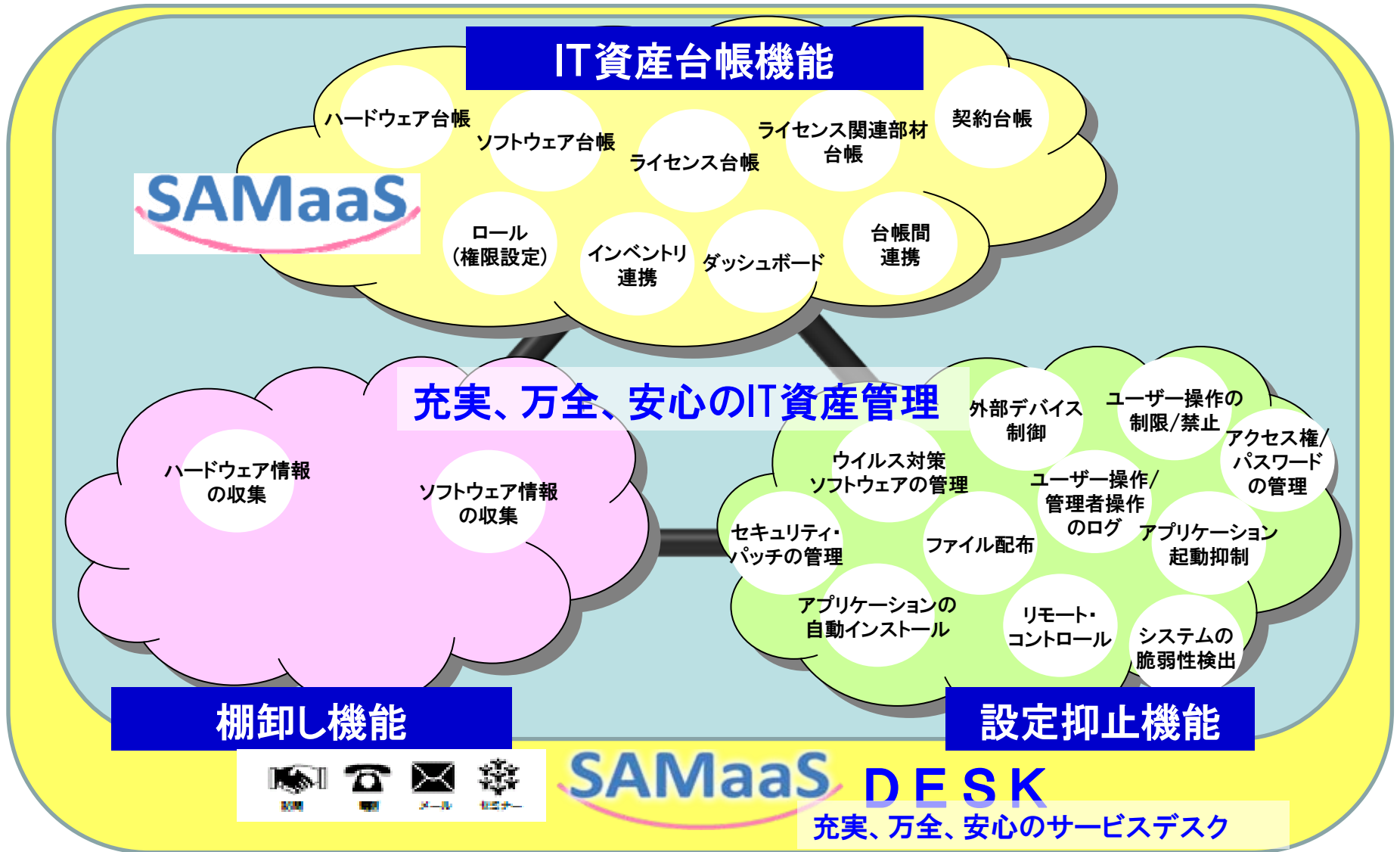
- IT資産を管理するには、たくさんの高いハードルが存在します
- 最も高いハードルがIT資産管理業務レベルを維持し続けることです

機能		IT資産管理の実態
台帳機能	IT資産管理台帳	基本台帳の管理項目が決まらない SAM基準を参考にしたいが難しい
	ソフトウェア・ライセンス管理	ソフトウェアとライセンスの使用数がわからない 所有と利用との較差を把握できない
	契約情報・経理情報管理	契約の期間や有無、費用が把握できていない 予算の執行状況が把握できない
棚卸機能	インベントリ収集機能	インベントリツールでの収集だけに留まっている 収集した情報の活用の仕方がわからない
	物理棚卸し機能	H/Wの存在自体の管理ができていない あって良いものなのか、無くて良いのかが把握できていない
設定抑止機能	セキュリティ管理	必要なパッチやソフトがインストールされているかわからない 定期的な情報の更新ができていない
	設定変更抑止機能	機器の使い方が利用者任せで不安がある 外部持ち出し中の機器の管理ができていない

IT資産の管理だけが目的ではない。カイゼンを促すことが重要。

What is SAMaaS ? **SAMaaS**

■SAMaaSはIT資産の管理を通じて、IT環境のカイゼンを促すソリューションです



“標準的な”IT資産の管理を今すぐに始める

SAMaaS の魅力

1. IT資産に関する**4つの視点 × 2**が一目で見てわかる
2つのダッシュボード

経営者の関心 4つの視点:C+GRC:コスト+ガバナンス・リスクマネジメント・コンプライアンスの略
管理メッシュ 4つの視点:S+UDL:ステータス+ユーザー・デパートメント・ロケーションの略

2. **標準的な162の管理項目**を予め設定

SAM基準をベースに標準的な管理項目が設定済み

3. **所有と利用のGap**を明確にする
差分分析レポート

インベントリ収集した‘事実’とあるべき姿(台帳)とを比較し、改善点(差分)を検出

IT資産に関する4つの視点×2が一目で見てわかる

2つのダッシュボード

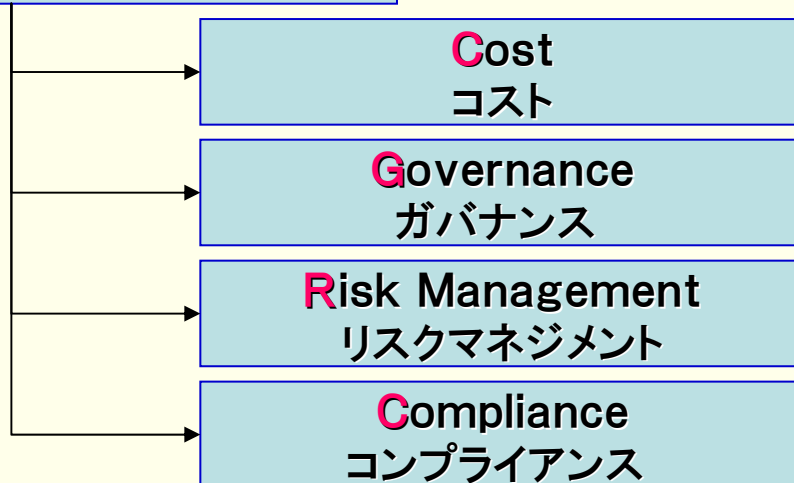
マネジメント層の関心からの
‘見える化’の要求に応える
マネジメントダッシュボード

利用状態の把握や改善の視点からの
‘見える化’を支える
オペレーションダッシュボード

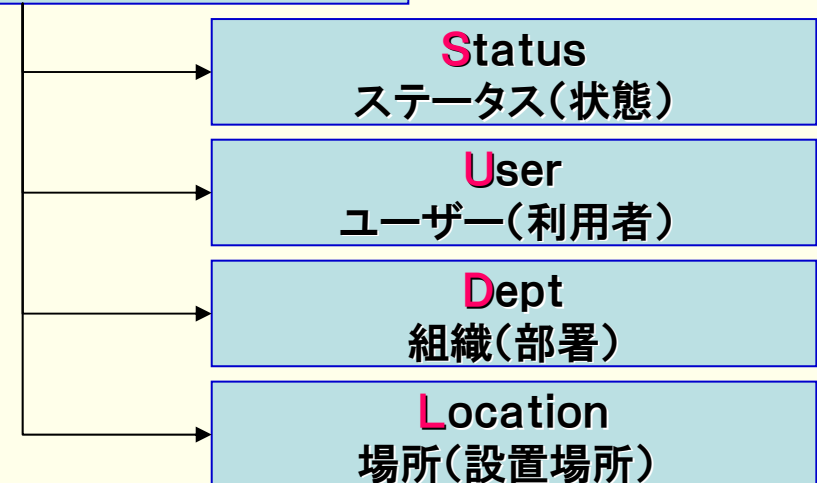
IT資産に関するマネジメント層の関心:4つの視点

IT資産管理者・実務担当者の関心:4つの視点

C+GRC



S+UDL



管理レベルに合わせた**162**の**管理項目**を予め設定

必要な登録アイテムや分類情報など管理項目を、あらかじめ準備してあります

SAM基準をベースにした4つの台帳

ハードウェア 資産台帳 35 項目	ソフトウェア 資産台帳 9 項目	ライセンス 台帳 16 項目	ライセンス 関連部材 台帳 6 項目
--------------------------------	-------------------------------	-----------------------------	------------------------------------

IT資産管理台帳機能

- ハードウェア台帳*1
- ソフトウェア台帳*1
- ライセンス台帳*1
- ライセンス関連部材台帳*1
- 契約台帳
- 利用者情報
- 設置場所情報
- 組織情報

*1: SAM基準(ISO19770)より

調達形態で分別できる3つ契約台帳

リース・レンタル 契約台帳 26 項目	保守 契約台帳 23 項目	ソフトウェア 契約台帳 21 項目
----------------------------------	----------------------------	--------------------------------

管理の視点を反映した3つのマスター

利用者 情報マスター 10 項目	組織 情報マスター 7 項目	設置場所 情報マスター 9 項目
-------------------------------	-----------------------------	-------------------------------

お客様の求める管理レベルに合わせて管理項目を設定できます

管理の成熟度に合わせて管理項目の設定変更が可能

また、独自項目も設定可能

所有と利用のGapを明確にする差分分析レポート

日々、更新されているIT利用の環境
管理(所有)と現場(利用)とのGapを明確にすることで改善を！



差分分析レポート

利用状況
差分分析
レポート

ライセンス
差分分析
レポート

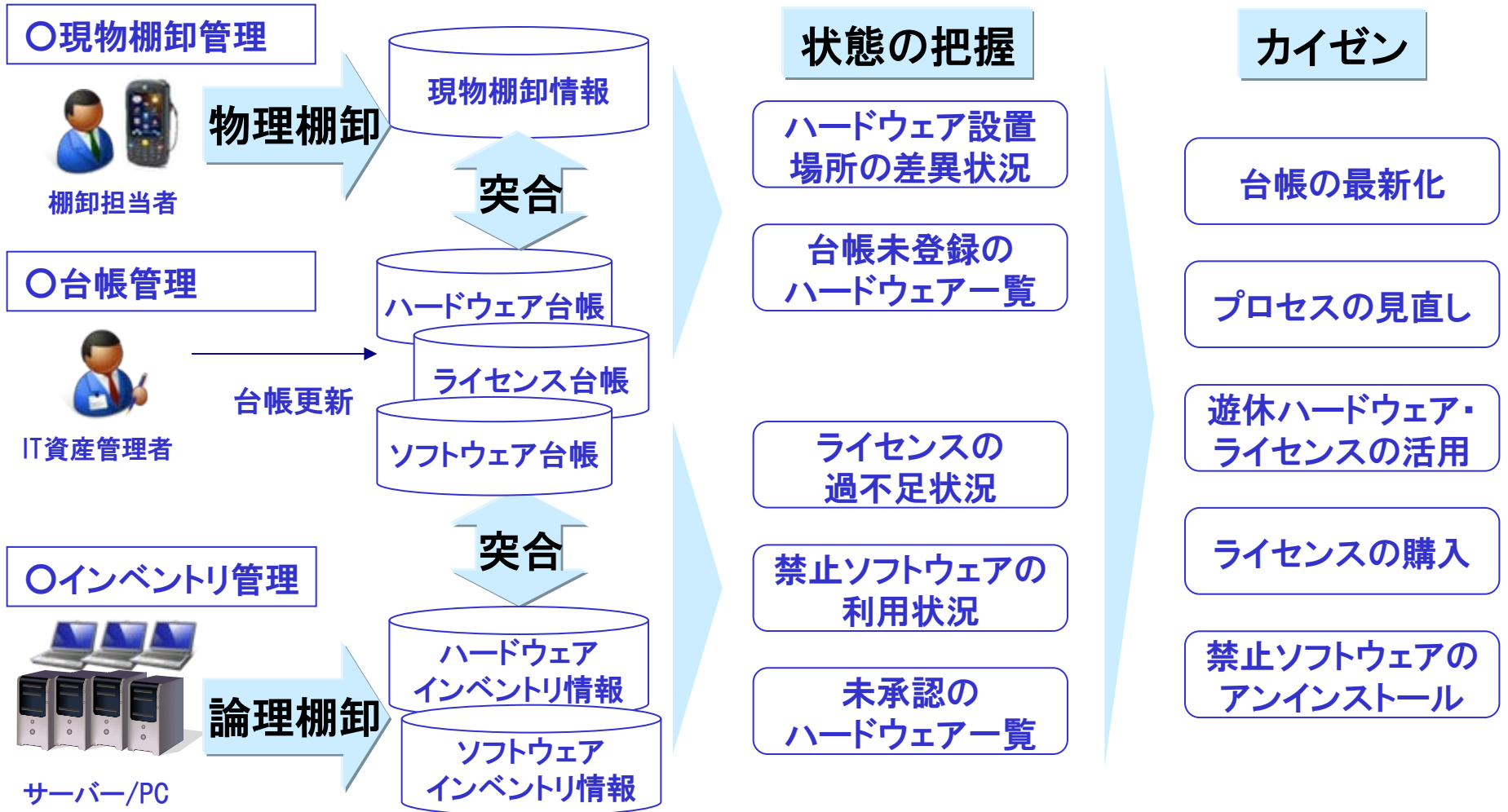
C+GRSの視点での課題を浮き彫りにします

S+UDLにより具体的な改善箇所が絞り込まれ、早期最適化を促します

『あるべき姿への改善』を進めます

■現物棚卸とインベントリ情報を台帳と**突合させる**ことで、ハードウェアの設置状況やIT統制の遵守状況などを把握し、カイゼンを促します

■オプションにて現物棚卸し機能やインベントリ収集ツールを提供します



■SAMaaSはIT資産の管理を通じて、お客様のIT環境のカイゼンを促します

機能		SAMaaSによって得ることができるお客様の価値
台帳機能	IT資産管理台帳	財務諸表・決算処理に係わるIT資産情報の精緻な把握 IT資産の利用中の管理(IMAC)
	ソフトウェア・ライセンス管理	ソフトウェアベンダからの追加課金請求・訴訟リスクへの対応 所有と利用の把握による調達コストの最適化
	契約情報・経理情報管理	経費(リース・レンタル、保守費用)の予測 IT投資計画への活用
棚卸機能	インベントリ収集機能	H/WやS/Wの最新の論理情報の把握 未承認のS/W・ライセンスの検出 IT資産台帳との突合による台帳の最新性と正確性の確保
	物理棚卸し機能	H/Wの物理情報の最新化と未承認H/Wの検出 利用者情報や設置場所情報の最新化 IT資産台帳との突合による台帳の最新性・正確性の確保
設定抑止機能	セキュリティ管理	ISMSやセキュリティポリシー遵守等の情報セキュリティ管理基準への対応
	設定変更抑止機能	情報漏えい、不正操作に繋がる設定変更リスクを回避する 自動修復による回避と監視による通知・警告での実態把握

ユーザー視点でのサポート体制 ITの専門家がお客様の立場で改善をサポートします

困ったときも安心のサポートで、使いこなせる！ 安心サポート体制

SAMaaSをご利用の皆様に、快適・便利にシステムを使いこなして頂くための安心サポートをご提供いたします。(一部、オプションとなります)

- SAMaaSの使い方がわからない
- 欲しい情報まで辿り着かない
- データの登録や変更がうまく行かない
- ダッシュボードやレポートの見方がわからない
- データの更新まで手が回らないのでお願いしたい
- 自社の管理レベルを知りたい
- 管理レベルを上げるにはどうしたら良いか相談したい
- 自社仕様のレポートを追加したい 等

IT資産管理の課題及びSAMaaSによる解決 -デモンストレーション-

<p>把握・紛失 ・盗難</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ DC内での頻繁な機器の入れ替え作業に伴い、棚卸時に台帳と現品の間にギャップが生じる ✓ 全社のIT資産管理が出来ておらず、どこに何があるのか分からない
<p>保守費用の増大</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ IT資産の使用状況が把握出来ておらず、未使用の機器やソフトの保守料金を余分に支払っている
<p>ライセンス不足 セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ IT機器の不正接続・ライセンスの不正使用等セキュリティ面やコンプライアンス面での不安がある
<p>コスト増加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ IT機器と共にソフトウェアライセンスも廃棄してしまい、ライセンスを超過購入している ✓ IT資産投資額を把握する仕組みがなく、戦略的かつ最適なIT投資を実現できていない ✓ 購買・契約・経理・現物管理情報が別々に管理されていて整合性がとれない また、それぞれを個別参照するため、手間暇がかかっている ✓ 一部紙ベースでの業務領域があり、作業効率が悪い ✓ 会社合併により運用管理費が急激に増加した
<p>インシデント管理/ 問題管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ IT障害・問題に関するデータの共有ができておらず非効率であり、重大な障害・問題を未然に防ぐことができていない ✓ 障害・問題発生時の原因解析・影響範囲の絞り込みに多くの時間を費やしている ✓ ITILに準拠した業務環境を推進するにつれ、従来のデータベース・ソフトウェアでのインシデント管理に限界がきている
<p>構成管理/変更管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全組織のIT資産を一元的に管理することができないために変更・構成管理が複雑 ✓ 構成情報を手動で収集しているため、時間と手間がかかっている
<p>サービスデスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ヘルプデスク業務のサポート品質が低い
<p>サービスレベル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 少ないITスタッフでの業務遂行のため、同レベルのITサービスの実現が困難

IT資産管理の課題

把握・紛失
・盗難

- ✓ DC内での頻繁な機器の入れ替え作業に伴い、棚卸時に台帳と現品の間にギャップが生じる
- ✓ 全社のIT資産管理が出来ておらず、どこに何があるのか分からない

保守費用の増大

- ✓ IT資産の使用状況が把握出来ておらず、未使用の機器やソフトの保守料金を余分に支払っている

ライセンス不足 セキュリティ

- ✓ IT機器の不正接続・ライセンスの不正使用等セキュリティ面やコンプライアンス面での不安がある

コスト増加

- ✓ IT機器と共にソフトウェアライセンスも廃棄してしまい、ライセンスを超過購入している
- ✓ IT資産投資額を把握する仕組みがなく、戦略的かつ最適なIT投資を実現できていない
- ✓ 購買・契約・経理・現物管理情報が別々に管理されていて整合性がとれない
また、それぞれを個別参照するため、手間暇がかかっている
- ✓ 一部紙ベースでの業務領域があり、作業効率が悪い
- ✓ 会社合併により運用管理費が急激に増加した

インシデント管理/ 問題管理

- ✓ IT障害・問題に関するデータの共有ができておらず非効率であり、重大な障害・問題を未然に防ぐことができていない
- ✓ 障害・問題発生時の原因解析・影響範囲の絞込みに多くの時間を費やしている
- ✓ ITILに準拠した業務環境を推進するにつれ、従来のデータベース・ソフトウェアでのインシデント管理に限界がきている

構成管理/変更管理

- ✓ 全組織のIT資産を一元的に管理することができないために変更・構成管理が複雑
- ✓ 構成情報を手動で収集しているため、時間と手間がかかっている

サービスデスク

- ✓ ヘルプデスク業務のサポート品質が低い

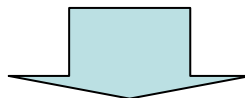
サービスレベル

- ✓ 少ないITスタッフでの業務遂行のため、同レベルのITサービスの実現が困難

把握・紛失 ・盗難

- ✓ DC内での頻繁な機器の入れ替え作業に伴い、棚卸時に台帳と現品の間ギャップが生じる

- ・保有している資産を把握したい
- ・棚卸し作業を素早く正確に行いたい

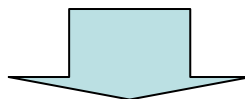


ハンディ端末を利用した棚卸し作業による解決

保守費用の増大

- ✓ IT資産の使用状況が把握出来ておらず、未使用の機器やソフトの保守料金を余分に支払っている

- ・機器の用途、使用頻度等に応じて保守サポートの内容を見直したい
- ・IT予算の適正化を行いたい



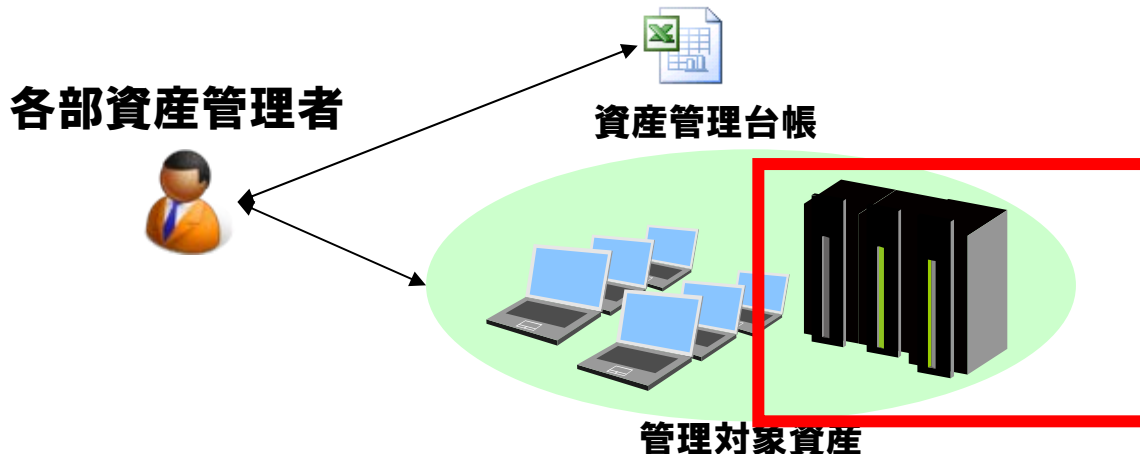
資産と契約を紐付けて管理することによる解決

① IT資産の棚卸し業務における課題と解決

従来の管理

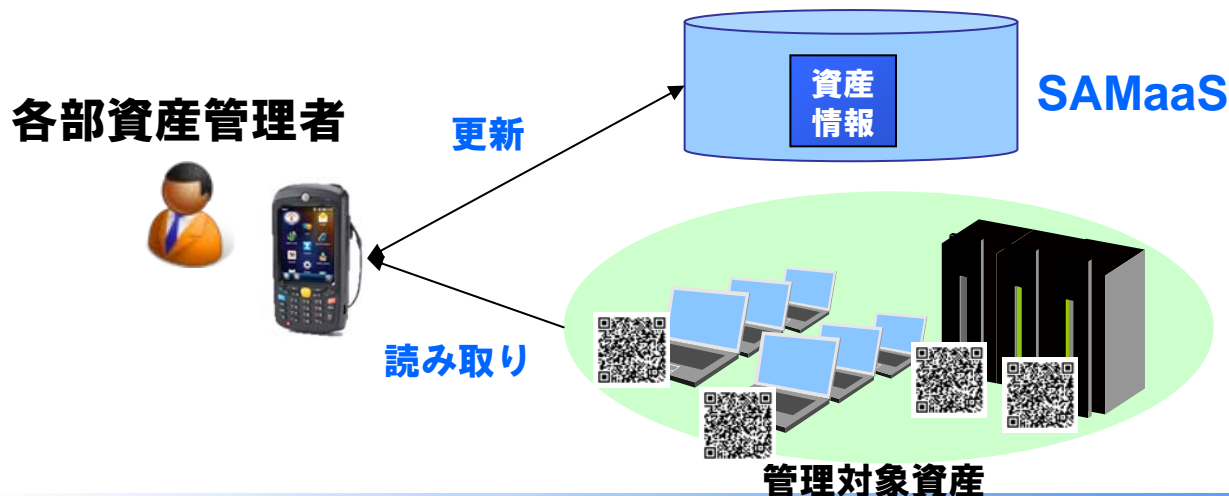
機器の棚卸しは台帳と現物の目視確認

工数もかかる上に、間違いがある可能性もある



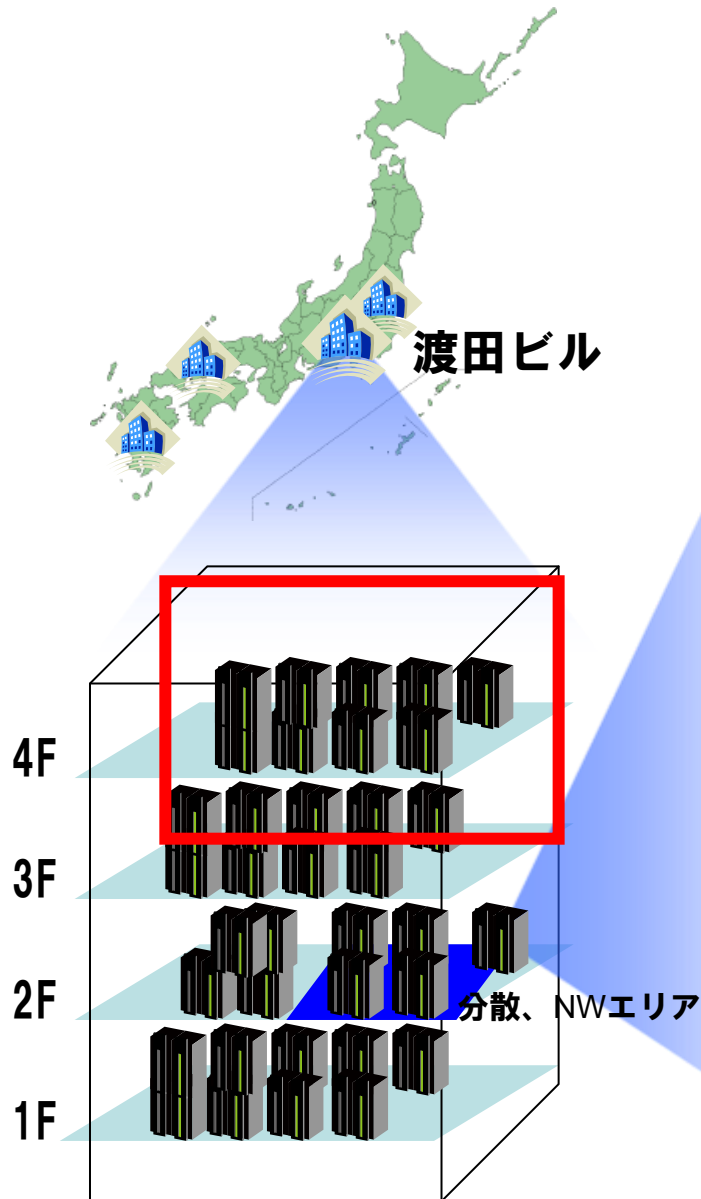
SAMaaSを利用した管理

システムの導入により棚卸し作業の労力やミスを軽減
最新かつ正確性の高い資産台帳が作成できる





IBM T42 システムラック Type 7014-T42



22	■	HP DL360 (esx-001)	22
21	■	HP DL360 (esx-002)	21
20	■	HP DL360 (esx-003)	20
19	■	HP DL360 (esx-004)	19
18	■	QNAPストレージ	18
17	■	Cat2960S (L2S-C01)	17
16	■	Cat2960S (L2S-C02)	16
15	■	Cat3750X (L3S-C02)	15
14	■	Cat3750X (L3S-C01)	14
13	■	ASA5510 (FWL-C02)	13
12	■	ASA5510 (FWL-C01)	12
11	■	Proventia GX4004v2	11
10	■	ACE4710 (LBL-G02)	10
9	■	ACE4710 (LBL-G01)	9
8	■	Cisco 892 (RTE-X02)	8
7	■	Cisco 892 (RTE-X01)	7
6	■	ASA5520 (FWL-G02)	6
5	■	ASA5520 (FWL-G01)	5
4	■	Cat3750X (L3S-G02)	4
3	■	Cat3750X (L3S-G01)	3
2	■	NS-2240 (コンソールサーバ)	2
1	■	DN4800E (ポートセレクタ)	1

② IT資産の契約管理における課題と解決

従来の管理

各台帳が連携していないため、整合性が取れない
資産の状態は日々変化するが、契約管理者には伝わらない

各部資産管理者



資産管理台帳

調達部門

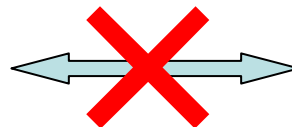
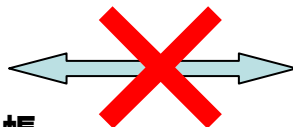


契約管理台帳

総務部門



人事情報台帳



SAMaaSを利用した管理

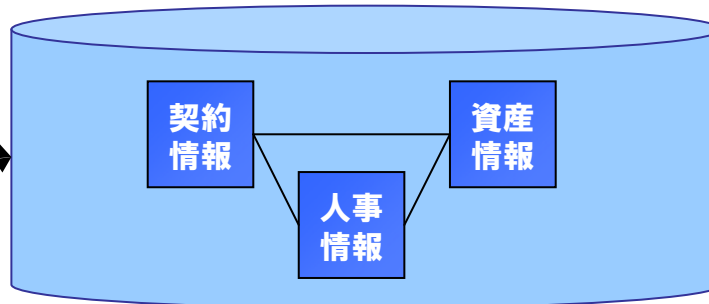
各情報を一元管理

契約情報と資産情報の関係が即時に参照可能

調達部門



総務部門



各部資産管理者



- IT資産管理の目的はIT資産に関するコストの低減、統制の強化、セキュリティリスクの低減、コンプライアンスの遵守の4つ(C+GRC)
- IT資産に関わる情報を一元的に管理し、情報を取り出せるようにしておく仕組みが必要
- IT資産の問題を把握し、プロセスの改善を行うことに価値がある

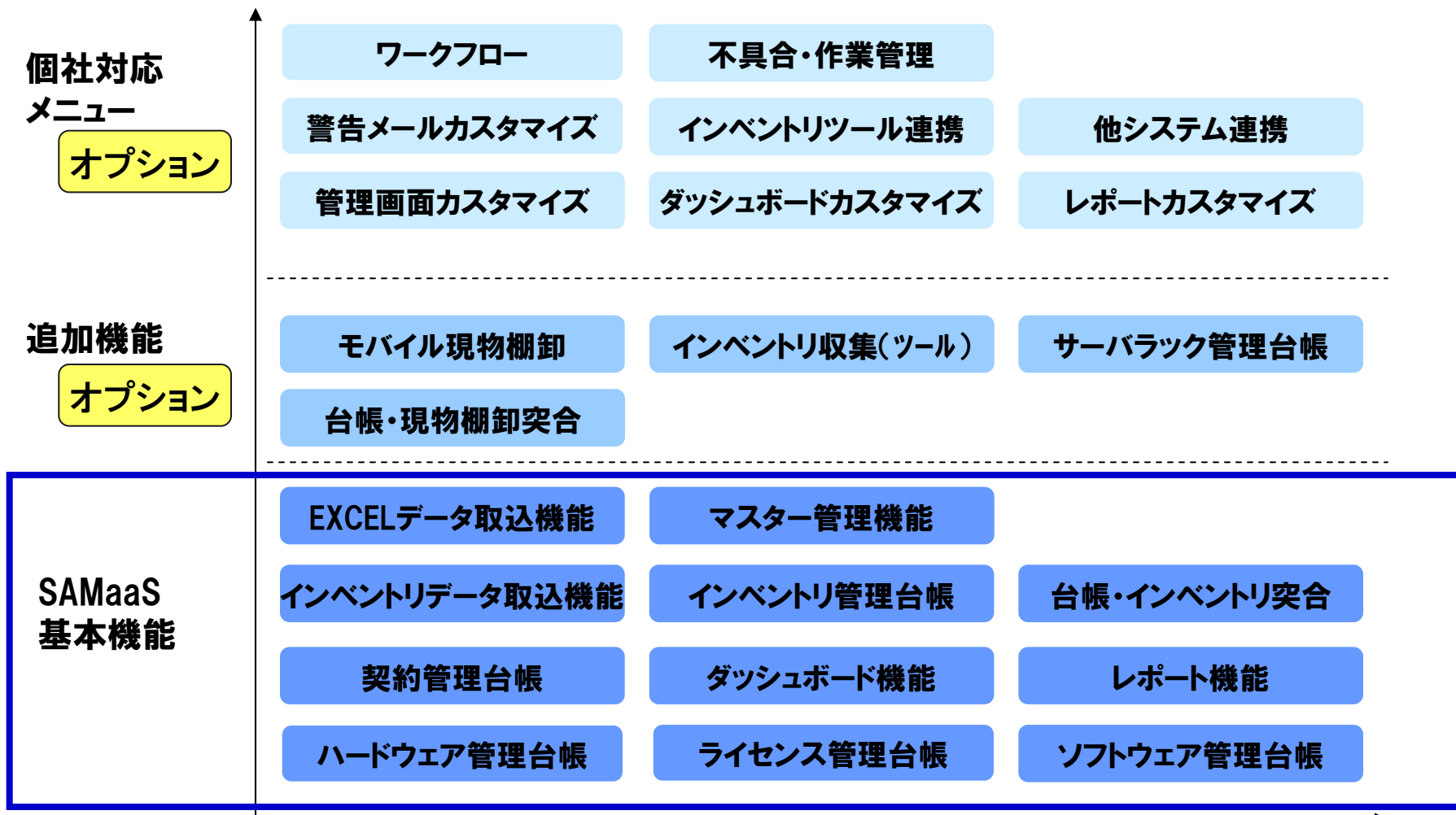
IT資産管理の目的とSAMaaS導入による効果

目的	SAMaaSの機能	SAMaaSの導入効果
1. コストの低減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資産-契約の紐付け ・ 資産状態の見える化 ・ 管理データの一元化 	契約内容の見直し IT資産の有効活用 管理コストの削減
2. 統制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監視/監督を行う情報基盤の確立 	定期監査の実施
3. セキュリティリスクの低減	<ul style="list-style-type: none"> ・ セキュリティ違反の迅速な検知 	セキュリティ事故の未然防止
4. コンプライアンスの遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・ SAM基準ベースの管理台帳 ・ 申請-承認プロセスの導入 	ライセンス監査への対応 ライセンス管理体制の確立

SAMaaS メニュー

SAMaaS

■SAMaaSの基本機能、追加機能、個社対応メニュー



IT資産管理ソリューションSAMaaS-ハンディ棚卸連携ソリューション

データセンタ管理業務(サーバー、ネットワーク機器等の管理業務、棚卸業務、運用業務など)における課題を解決するために、最新かつ正確なハードウェア台帳の確保と、データセンター内の機器の見える化を支援するソリューションを提供いたします

お客様の課題:

- ・構成変更、サーバの利用者の変更が多く、ハードウェア台帳が現物と異なる
- ・サーバー、ネットワーク機器などのハードウェアをすべて把握できていない

解決策:

- ・容易に定期的な棚卸ができる仕組みの導入
- ・ハードウェア構成情報を最新化する仕組み
- ・ハードウェア台帳の整備

期待される効果:

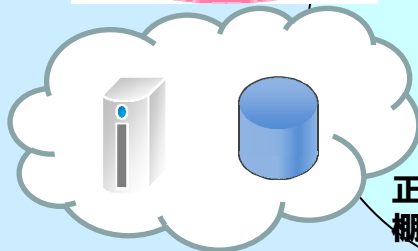
- ・モバイル端末の導入による棚卸業務の大幅な生産性向上
- ・最新かつ正確な台帳を確保
- ・一元化できるIT資産管理の導入によるデータセンター内のIT資産の見える化

ソリューション概要:

台帳の最新化!

棚卸結果の反映

SAMaaS



正確な台帳の閲覧
棚卸結果の確認

見える化!

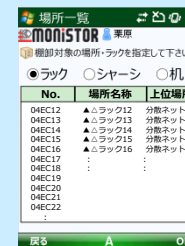
ハンディ棚卸

ハンディターミナル操作

- ① 棚卸台帳ダウンロード
- ② ハンディターミナルで棚卸
- ③ 棚卸結果のアップデート



ハンディターミナル
端末



ハンディターミナル
棚卸入力画面

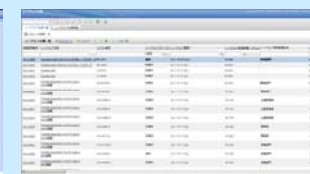
IT資産管理SAMaaS



保守担当者
管理者



ダッシュボード



IT資産管理台帳

ご紹介の機会を頂き、ありがとうございました。

7/31 エクサプライベートセミナー開催
《IT資産管理の決定版SAMaaS》&《仮想型CADシンククライアント》
お客様相談会も開催します

詳しくは弊社HP 「セミナー&イベント」の欄をご確認下さい

弊社連絡先:

株式会社 エクサ

クラウドサービス営業部

SAMaaS担当 高橋 良広(たかはし よしひろ)

〒212-8555

川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア東館15F

TEL:044-540-2978 FAX:044-540-2399

URL: <http://www.exa-corp.co.jp>

e-mail: yoshihiro-takahashi@exa-corp.co.jp

